

みんなが輝き、支持され選択されるまち“あつま”を目指して

厚真町長 宮坂 尚市朗

2018年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお慶び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

去年は、気象の周期的変動が激しく、農作物の生育が心配されましたが、各作物の収量・品質とも良好な作柄となり、8年連続で豊穰の秋を迎えることができ、改めて農業者の皆様や関係機関のご努力に敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年の農業情勢は、日欧 EPA やアメリカを除いた TPP11 に代表される国際貿易の枠組みの中で、公然と保護政策からの脱却が論じられるなど、激動する米政策を始めとして農業政策全般に市場経済の論理が影響し始めており、これまで以上に厳しさを増しています。平成30年産米から政府主導の生産調整と米の所得補償が廃止されますが、今後はさらに地域間競争の激化が予想され、農業王国北海道の底力が試されることとなります。

こうした中、本町にあっては、厚幌ダム建設工事が佳境を迎えており、昨年10月2日に湛水試験が始まり、順調であれば本年5月の連休ごろには満水（サーチャージ水位）となる見込みであり、その後の点検作業を経て悲願であった完成へと向かいます。関連事業の国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、厚真川総合開発事業、統合簡易水道事業も順調に進捗しており、これら大型公共事業の計画期間内完成に向けて引き続き関係機関一丸となって取り組んでまいります。

昨年10月に衆議院議員総選挙を経て発足した第4次安倍内閣は、デフレ脱却と人口減少及び少子化を克服するため「生産性革命」、「人づくり革命」を掲げ、誰もが生きがいを感じられる「一億総活躍社会」を目指すとしています。本町では、既に、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、子育て世代の

経済的負担の軽減策のほか、安心して子どもを生み育てられる環境づくり、学校教育・放課後教育などの充実を図ってまいりました。また、高い評価をいただいている高齢者福祉施策のほか、各分野での担い手育成と創業や投資を促進し、古民家再生や空き家対策、高齢者向け住宅政策、田園回帰ムーブメントの取り込みなど活力ある生産空間と生活空間の形成に取り組んでいます。

昨年の11月には、こうした取り組みに対し、自らが創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村として地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞しました。先輩諸賢のご指導と関係機関のご協力、そして町民の皆さまの不断のご努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。

本年も厚真町の地方創生総合戦略と第4次総合計画の着実な推進を図り、『みんなが輝き、支持され選択されるまち、住み続けたい安心・安全なまち“あつま”』を目指して、町民の皆さまとともに山積する諸課題に積極果敢に取り組んでまいります。厚真町にとって平成30年が大いなる飛躍の一年となるよう、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。